

## 「第三次新潟市子ども読書活動推進計画（案）」に対する パブリックコメントの実施結果について

「第三次新潟市子ども読書活動推進計画（案）」について、貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

いただいたご意見に対する市の考え方をまとめましたので、結果を公表します。

なお、ご意見の一部については、趣旨を損なわない範囲で要約し掲載させていただきましたので、ご了承ください。

### ■募集期間

令和元年10月24日（木）～令和元年11月23日（土・祝）

### ■広報手段

- ・市報にいがた、市ホームページに掲載
- ・市政情報室、各区役所、各出張所、各図書館、各公民館（10館）にて資料配布

### ■ご意見の提出状況、案の修正

- ・意見提出者数：9名（提出方法：郵送2、電子メール4、窓口へ持参3）
- ・意見数：23件
- ・案の修正 2件

### ■結果公表場所（閉庁日、休館日は除きます）

- ・市政情報室（市役所本館1階）
- ・各区役所地域課・地域総務課
- ・各出張所
- ・各図書館（19館）
- ・各公民館（10館）

### ■結果公表日

令和2年3月30日(月)

### ■問い合わせ先

新潟市立中央図書館

〒950-0084 新潟市中央区明石2丁目1番10号

電話：025-246-7700 FAX:025-246-7722

E-mail：chuo.cl@city.niigata.lg.jp

<意見の概要と市の考え方・対応>

No.	頁	項目	ご意見の概要	市の考え方	修正
1		全般	<p>パブコメが実施された事で、このような計画がある事を初めて知った。本計画を読むことで、これまでに様々な取組みが行われてきた事が良く解った。</p> <p>課題解決に向けた検討を更に重ね、本計画を推進してもらいたい。</p> <p>「第三次新潟市子ども読書活動推進計画(案)」に賛成する。関係課・機関が連携・協力を更に強化し推進してもらいたい。</p> <p>我々市民の日頃の行動が全体目標の達成に繋がる事を改めて解った。全市民が自分の事と捉え行動していきたいと思う。</p>	<p>ご意見及び本計画への賛成のご意見ありがとうございます。今後も関係課・機関と連携を更に強化し、市民の皆様と協働し計画を推進していきます。</p>	無
2		全般	<p>新潟市の財政状況が厳しいものと報じられている中、この計画と取組は、地味であるけれども、長期的に見て何より大事な、人づくりの基盤であることも、計画の中で触れてもいいのではないか。</p>	<p>本計画と取組が長期的に見て人づくりの基盤であることも含めて、「未来へつなぐ 読書のバトン」(lp)で述べています。</p>	無
3		全般	<p>読書バリアフリー法に期待する。すべての子どもたちが、平等に読書環境を整備されるために、是非、早い実現を望む。</p>	<p>「未来へつなぐ 読書のバトン」(lp)で述べているように、新潟市の全ての子どもたちが本に親しみ、読書習慣を身に付けられるよう、豊かな「子どもの読書環境づくり」に努めていきます。</p>	無

No.	頁	項目	ご意見の概要	市の考え方	修正
4	2～6p	第1章 1 各場面での主な 成果と課題	子ども読書活動推進計画が着実に進められていることを評価する。とりわけ、ブックスタートが多くのボランティアとともに継続して進められていること、学校図書館の活用が着実に進められていることは、子どもの読書活動を進める上で 非常に意義ある取組と評価する。	ご意見ありがとうございます。今後もブックスタート事業の充実や学校図書館の活用が進むよう取り組んでいきます。	無
5	7p	第1章 2 数値目標の達成 状況	前計画の取組に対する成果指標がアウトプットのみで、より重要なアウトカムが設定されていないように思う。子どもの読書活動のアウトカムの指標を設定し次の計画期間に評価できるようにしたらよいのではないか。	ご意見ありがとうございます。本計画ではアウトカム指標をもとに、新潟市の全ての子どもたちが本に親しみ、読書習慣を身に付けることを目指しています。さらに子どもの読書活動の推進を進めてまいります。	無
6	11p	第2章 5 目標・指標 (2) 指標	小中学校の不読者に働きかけ不読を減らすことは、必要かつ大変重要なことだと思う。学校であれば具体的に不読者に対し個人個人にピンポイントで働きかけることが可能だと思う。そのための読書プログラム（例えば3か月コースとか）を国語研究者・教員・司書教諭・学校司書が協力して開発し、さらに公共図書館・家庭等もタッグを組みプログラムを実行するといった取組を教育委員会で行ってはどうか。その結果に効果が出たならば、さらに広げていったらよいと思う。教育は平等に受けられるべきで、そのためにも不読者には手を差し伸べるべきかと思う。	ご意見ありがとうございます。いただいた意見を参考にさせていただき、関係者と連携を図っていきます。	無

No.	頁	項目	ご意見の概要	市の考え方	修正
7	13p	第3章 1 家庭 施策②ブックスタート事業の充実	ブックスタート事業の充実が良い場になっていると思う。保護者からの声掛けや、若い人にも図書館や読書に興味を持ってもらう。	ブックスタート事業を通して、保護者の方々に、子どもの読書や図書館に関心をもってもらえるよう今後も取り組んでいきます。	無
8	14p～ 24p	第3章 1 家庭 2 保育園・幼稚園・認定こども園 3 学校 4 地域	家庭・園・学校・地域において、それぞれ「できるだけ読書の時間を確保するよう働きかける」を追加。ゆとり教育が見直され、学校でやるべきことが増加しているにもかかわらず授業時間は増えない。朝読書の時間も英語教育等に転換されてきている。文化庁の調査では読書をしない子どもはこの10年間で2.5倍に増加しており、その理由はスマートフォンとされている。貸出冊数だけでは読書量は図れないので、園児児童生徒の生活の中でいかに読書の時間を確保してやるかが課題と考える。従って、第三次計画には読書の時間の確保を盛り込むべきと思う。 また、スマホ等デジタル機器での読書についても検討すべき時期に来ていると思う。	本計画を通して、様々な機会を捉えて読書の時間の確保について働きかけを行っていきます。スマートフォン等での読書については、子どもを取り巻く環境の変化を見ながら、本計画の中で検討していきます。	無
9	14p	第3章 1 家庭	出産前の保護者が絵本への理解を深めるために、妊産婦健診時に主旨の説明書と一緒に絵本を1冊プレゼントしたらどうか。 保護者に読書の意義や重要性、読書の楽しさをわかってもらうために、具体的な解説や事例をわかりやすく伝えることが大切だと思う。	ご意見を参考に、出産前の保護者への効果的な働きかけを検討していきます。 現在もブックスタートや健診などの機会に、保護者向けに読書の大切さを伝えるパンフレットやブックリストを配布していますが、より具体的に伝えられるように内容を工夫していきます。	無

No.	頁	項目	ご意見の概要	市の考え方	修正
10	14p	第3章 1家庭 施策①保護者への 働きかけの推進	1家庭、保護者への働きかけの推進ですが、父母だけで無く、祖父母への働き掛けも大切であるので、祖父母も保護者の一員である旨をいれてはどうか。	ご意見ありがとうございます。多様な家庭環境も踏まえ、保護者の一員として祖父母も含めて働きかけていきます。	無
11	14p	第3章 1家庭 施策①保護者への 働きかけの推進	今ある小学生向けのうちどくブックリストに掲載されている本は「うちどく」にこれから取り組む人にとってはハードルが高すぎると思う。読書が苦手な子どもや、本が生活に入り込んでいない家庭にこそ「うちどく」に取り組み、本を身近にして欲しいので、ヨシタケシンスケの絵本のような親子で楽しめる本を掲載してはどうか。	ご意見ありがとうございます。うちどくブックリストの内容については、今後も検討していきます。	無
12	14p	第3章 1家庭 施策①保護者への 働きかけの推進	ブックリストやチラシについて、重要なのはどこに設置し、どうやって手渡すかだと思う。公共施設だけでなく、小児科や学習塾など、子どもと親が通う場所で待ち時間やスキマ時間ができる場所に設置したり情報提供することはできないか。	いただいたご意見を参考に、ブックリストやチラシの設置場所や効果的な配布方法を検討していきます。	無
13	15p	第3章 1家庭 施策②ブックス スタート事業の充実	出産前は時間はあるが疲れやすいのでチラシ等の情報提供よりはマタニティ講座などの時に司書が出向いて実際に読み聞かせをしてやるのもいいのではないか。	取組「出産前の保護者を対象とした絵本や読書に関する情報提供」(15p)のなかで、出産前の保護者対象の講座等で直接情報提供する取組を検討していきます。	無

No.	頁	項目	ご意見の概要	市の考え方	修正
14	15p	第3章 1 家庭 施策③子育て世代 が利用しやすい図 書館づくり	滞在しやすくする手立て として、未就学児を連れ た親子などは、ほんぽー との駐車場代金を減免し てはどうか。	ご意見を参考に、子育て 世代が利用しやすい環境 づくりを検討していきま す。	無
15	18p	第3章 3 学校	日本語として違和感があ るので、以下のように修 正してはどうか。 →「学齢期は、子どもが 生涯にわたる読書習慣を 身につける大切な時期で あり、学校は、子どもの 読書活動を推進する最も 重要な場所です。」	ご意見のとおり修正しま す。	有
16	18p	第3章 3 学校	「読書活動推進のための 利活用に加え、様々な授 業で活用されることによ り、学校における言語活 動や探究活動の場とな り、主体的・対話的で深 い学びの実現に向けた授 業改善に資する役割が一 層期待されている」とあ るので、教師、学校司 書、ボランティアと共に 一クラスごとにアニメシ オンを授業に取り入れて もらえないか。	校内読書週間等の学校の 様々な場面で、アニメシ オンも含めた読書活動へ の取組を進めていきま す。 ※アニメーション 対話を重視した「創造的 な遊び」の手法による読 書教育の一つの方法で、 その場で読み聞かせた り、参加者があらかじめ 同じ本を読んでおいたり して、楽しみながら読解 力・表現力・コミュニ ケーション能力を高めて いこうとするもの。	無
17	19p	第3章 3 学校 施策①学校図書館 活用の拡大	校長がリーダーシップを 発揮するため、読書や図 書館、司書や司書教諭に 関する最近の知識を得る 機会が必要なのではない か。	管理職研修等を充実させ ていきます。	無
18	19p	第3章 3 学校 施策②教職員研修 の充実	幼少期から小学校段階で の読書習慣の形成が、中 学生の不読率や読書離れ を防ぐと考える。小・中 学校の司書が交流する機 会を設け、発達段階に応 じた切れ目のない適切な 読書支援ができるような 研修を求める。	学校司書実務研修等で、 小・中学校の司書が交流 する機会の充実を図りま す。	無

No.	頁	項目	ご意見の概要	市の考え方	修正
19	21p	第3章 3 学校 施策⑥地域との連携	熱心な学校もあれば、取組が見えない学校もあるように、学校の取組には大きな差があると感じている。学校図書館地域開放への支援や学校図書館ボランティア養成のための支援は本当に必要だと思う。児童の本好きは、学校図書館の力が大きいと思う。	ご意見ありがとうございます。「⑥地域との連携」(21p)に記載したとおり、支援に取り組んでいきます。	無
20	22p	第3章 4 地域 施策①子どもの読書環境の整備 施策②子どもと本を結ぶ事業の実施	「就学前～小学生の保護者に子どもの読書を充実させることへの働きかけをする」という内容をいれる。 小学校では絵本や幼年文学から本格的な読み物への移行がうまくいかず本離れ現象をおこす子が多くいる。対策として、絵本だけでなく本も読み聞かせをする、親子で同じ物語を楽しむなどが考えられるが、学校司書だけではなかなか進展しない。学校(教師)、PTA(保護者)、地域教育コーディネーターなど子どもの身近にいる大人と公共図書館が連携し子どもの読書が充実するように、意識を高めていくことが必要だと思う。小学校時代のよい読書は、ティーンズ世代の自分を育てる読書につながる。	ご意見のとおり、家庭・園・学校・地域が連携・協力して、就学前から小学生の保護者に働きかける取組を検討していきます。	無

No.	頁	項目	ご意見の概要	市の考え方	修正
21	24p	第3章 4 地域 施策⑤ボランティアとの連携・支援	読み聞かせボランティアを始める人が、やりたいと思ったときにいつでも始められるよう初心者向け養成DVDを作成して、各図書館に配布してほしい。 読み聞かせボランティアステップアップ講座を地元の図書館で定期的開催してほしい。	ご意見ありがとうございます。読み聞かせボランティアとの連携を図りながら、初心者に対し支援できる環境づくりを進め、さらに今後は、初心者向けの養成講座を定期的実施していきます。また、読み聞かせボランティアステップアップ講座については、ボランティアの皆様が参加しやすい効果的な方法を今後検討していきます。	無
22	24p	第3章 4 地域 施策⑦職員研修の充実	多くの事業が計画されているが、それらを実のあるものとするためには、協働の相手である市民ボランティアや、教育や保育などの連携機関との間で、職員の信頼を育てていくことが何よりも大事。職員を育てていくために、時間をかけて専門性を磨けるような取組が大事。	ボランティアや関係課・機関の職員とさらに連携が深まるよう取り組んでいきます。また、職員が子どもの読書に関わる研修の機会を充実させることで、職員の専門性も高めていきます。	無
23		用語解説 ※2「第四次子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」	「おおむね5年(平成30年～令和4年)」を「おおむね5年(平成30年度～令和4年度)」に修正。	ご指摘のとおり修正します。	有